

大井まちづくり協議会 おおいニュース

【平成29年新年】広報紙発行！！
今回は、平成28年度『大井まちづくり協議会』の活動内容についてご報告します。
ぜひ読んでくださいね♪



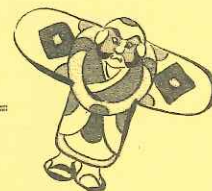
会長あいさつ

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は4年に一度のスポーツの祭典、リオオリンピックが開催され、日本選手の活躍でメダルラッシュに日本中が興奮しました。また、反面4月の熊本地震さらに10月の鳥取中部地震などで多くの人的・物的被害が発生し、安全が脅かされる自然災害がありました。亡くなられた方々に共にご冥福をお祈りしたいと思います。

さて、まちづくりの原点は人と人とのつながりにあります。大井まちづくり協議会では今年も安全安心を第一に理事会を通じて、住民の声を大切にしながら一つづつはありますが、大井の活性化に向けて取り組んでいきたいと思ひます。本年が皆様方にとりまして平穏な一年でありますよう祈念申し上げご挨拶といたします。

❖平成28年度活動報告❖



☆活動事例①

大井草刈り支援事業活動



◆目的

耕作放棄地や遊休農地の環境保全を地域住民有志(草刈り支援隊員)の誠意ある作業によって、農地を再生するほか、害虫の予防につながる。

◆内容

自力で農地を管理出来ない高齢化の進む中において所有者の要望により登録隊員が草刈り機または市の放棄地協議会から歩行用ハンマーナイフを借り受けて作業を行う。

☆活動事例2 えひめA1・2促進事業

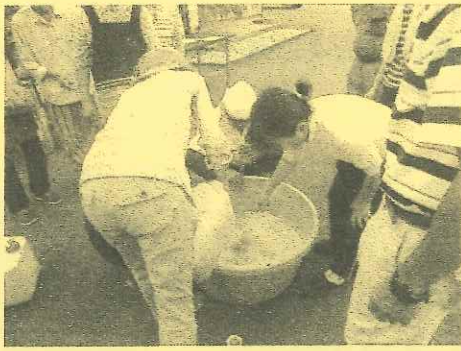
◆目的

豊かな生活の環境空間を整えるため、家庭内水回りの環境整備と優れた野菜の生産を助長するもの、また、生活排水を浄化し農業用水の環境保全を守りつつ、普及促進に努める。

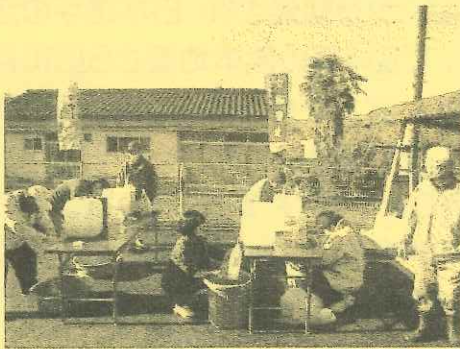
◆内容

年4回にわたって利用者自ら製作に加わり一週間培養後配分する。

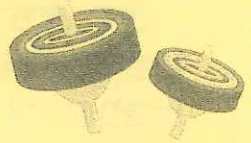
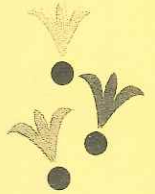
継続的な利用を通じて臭いやぬめりを除去するほか従来の肥料に栄養素が加わり、農産物の資質の向上につながる。



製作時



分配時



☆活動事例3 地域産業支援活動

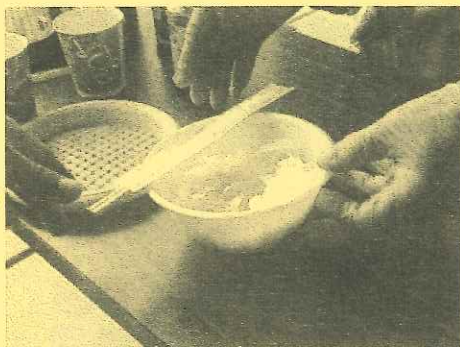
◆目的

地域にある産業を支援するため、公民館フェスティバルに出展し、多くの人に食べていただき、知名度の向上をはかる。

◆内容

笠岡ブランドのたまごと生活排水の入らない溜め池から引いた用水で育てた大戸米で作った、たまごかけご飯を100食限定で栄養委員さんや男性料理教室の方々に販売する。

「たまごかけご飯販売状況」



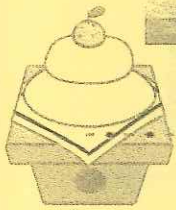
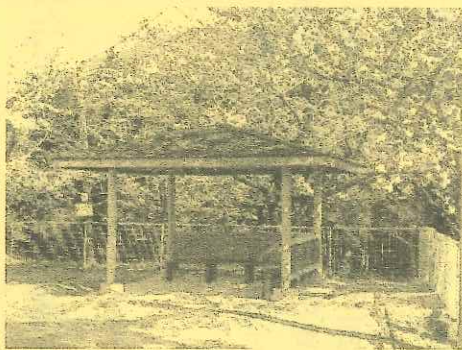
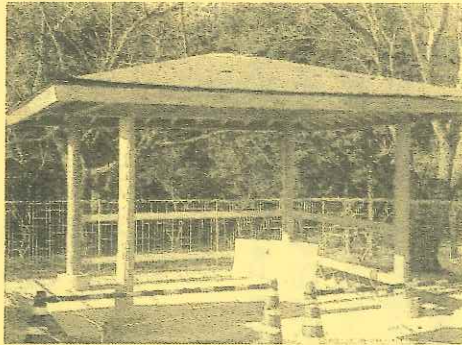
☆活動事例4 「ほっと」な居場所づくり事業

◆ 目的

様々な運動の催しを通じて、ふれあい・つながいを求め、大井住民などが利用する大井グラウンド内に、健康管理と合わせ、情報交換の居場所として東屋を整備した。

◆ 内容

公民館の体育祭・納涼祭・グラウンドゴルフ・スポーツ少年団のソフトボール・保育園・幼稚園の運動会など幅広く利用者が、休憩・語らいの場として利用する。



☆活動事例5 平成二十八年度まちづくり活動

報告会参加

◆ 内容

平成二十八年十二月十日午前十時から笠岡市内のホテルに於いて、まちづくり活動報告会が開催されました。

吉田・白石・金浦のまちづくり協議会の事例が発表がされたのち、若者による「ボツケーまち会議」と地域おこし隊の発表が行われました。それ以外の団体はパネルによる活動の展示がなされ、大井まちづくり協議会は「ほっと」な居場所づくり事業による（あすまや）活動など紹介しました。



◆ 新事業その一 「ひだまりカフェ」参加者交通費支援事業◆

◆ 内容

社協大井支部などの要望に基づき、ひだまりカフェに一人でも多くの方が参加される環境づくりに交通費の支援を行う。当面、平成二十八年十一月から平成二十九年三月にかけて試行的に取り組み運びになりました。

月二回の開催時に運送業者(タクシー会社)による低価格料金で試行運用し、交通手段のない参加者がわずかな負担をする中で、交通費を支援するものです。

試行の結果、将来にわたって必要とされる場合平成二十九年事業として理事会等でさらに協議を重ね予算化する予定です。

◆ 新年度活動予定事業 ◆



◆ 大井自主防災会からのお知らせ ◆

おいしい自主防災会(東大戸小平井・春日台)に防災テント整備

◆ 内容

この度、笠岡市に要望していました、防災用機材として防災テントが配布されました。東南海・南海地震の発生が危惧される中、緊急時に避難場所に設置されて防災テントは、野外に避難される方々には絶対不可欠な資材(大きさ3×2間)です。

フレームを拡げて開くワンタッチ式で今後は、誰でも使用が出来るよう、大井地区内の行事でも利用していくよう考えています。

また、大井自主防災会ではその他の資機材として担架・チェンソー・ヘルメットなど避難場所である大井公民館や同敷地内の防災倉庫に収納しており、万が一の災害に備えています。

